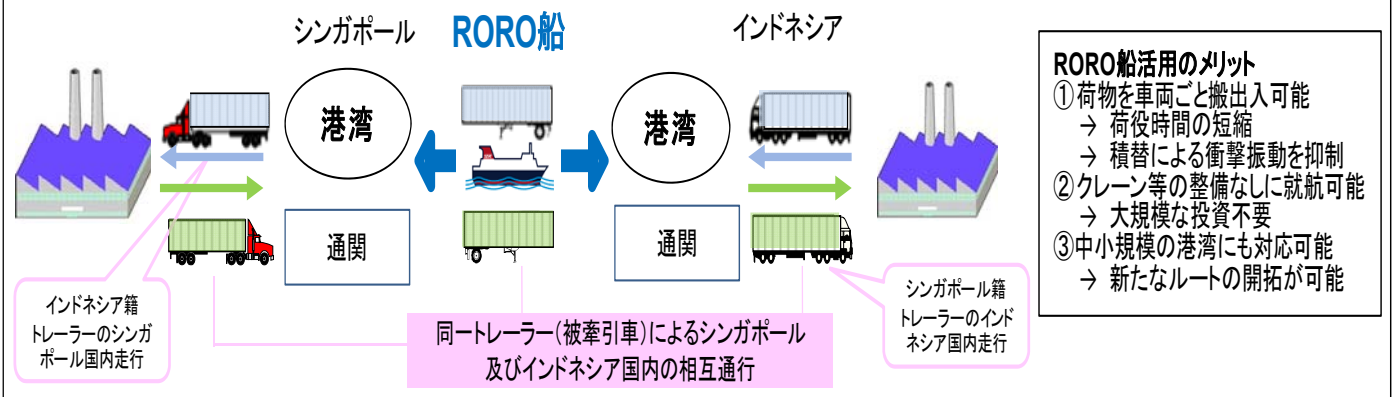


取組の概要

アセアン域内の連結性を高めるため、効率的で迅速な輸送が可能な国際高速RORO船を活用した海陸一貫輸送の実証事業を実施。同輸送サービスの導入による効果及び課題を検証して、同輸送サービスの導入に係るビジネス環境の改善及び調和の提案を行う。アセアン海上貿易において、このような実証事業は初めての試み。

国際高速RORO船を活用した海陸一貫輸送システム実証事業例



本年度(H25)の取組

シンガポール・ジャカルタ間でRORO船運航の実証事業を実施
(事業の効果・課題等の整理・分析及びトライアル輸送の実施)
+
アセアン各国との調整



RORO船とは・・・
ROLL-ON/ROLL-OFF船の略で、貨物をトラック、トレーラに積載したまま岸壁から船舶に積み込み、又は船舶から岸壁に積み卸す荷役が可能な船舶

<RORO船と他モードの比較>

	コスト	リードタイム	CO2排出量
航空	10	3	10
コンテナ船	1	10	1
RORO船	3	4	1

アセアン域内の連結性の向上による
物流ネットワークの強化

航空機より安価、コンテナ船より迅速 ~新たな輸送モード~

トライアル輸送の実施スケジュール

RORO船輸送の効果及び課題を具体的に検証

○ 2/23 シンガポール出港 → 2/25 ジャカルタ入港(予定)

(3月中旬 ジャカルタ出港 → シンガポール入港(調整中))

- シンガポール籍トレーラーに積載したコンテナ貨物をRORO船でシンガポールからジャカルタに輸送し、2/23の週後半に、シンガポール籍トレーラーのままでジャカルタ市内の倉庫までコンテナ貨物を配送する予定です。
- このトライアル輸送については、インドネシア運輸省、タンジュンプリオク港税関事務所、ジャカルタ警視庁等インドネシア政府機関から全面的な協力を受けて行うものです。

